

特定非営利活動法人しみん基金・こうべ

平成 22 年度事業計画

(平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで)

はじめに～平成 22 年度基本方針

当基金は「市民自らが市民活動を支えるファンド」として創設され、草の根の市民公益活動を支援することを通じて、「新しい市民社会」の確立を目指してきました。

昨年度は節目の 10 年目を迎え、記念パーティーを開催し、合わせて会員を中心とした「検証ビジョン検討委員会」を通じて多くの人たちからのご意見をお伺いしながら、当基金のこれまでの 10 年を振り返りこれからのあるべき姿について協議してきました。

そこで浮き彫りにされてきたことは、「絆」の大切さ、ということでした。この 10 年間の助成事業は、助成された団体の様々な活動を通じて、地域における身近な助け合いや支え合いの連鎖を産み出してきました。これからも、人と人、人と社会、人と自然のこころのこもった「絆」を創り繋いでいくことが、当基金の果たすべき大切な役割であることが共有されました。

この役割を果たしていく上での大きな方向性として、1) ネットワークの力を生かすこと、2) 多種多様な市民・企業等からの安定的な資金調達の基盤をつくっていくこと、3) 助成の方向性を明確にし深化させること、が挙げられました。

また、昨年度の政権交代を受けて、「新しい公共」実現に向けての動きも始まりつつあります。

そこで当基金の大きな方向性とこのような社会の動きを受けて、まず今年度の活動では以下の点に重点を置くこととします。

- (1) 支援者(賛助会員、応援団、サポーター)拡大や市民活動の基盤強化に資するための戦略的なネットワークを築いていくこと
- (2) 小規模でかつ気楽な形式で連続的なイベント募金等、多様な寄付機会を開拓・企画・提供すること
- (3) 次代の市民活動の担い手育成を重視していくこと

上記の平成 22 年度基本方針を受けて、下記のとおり事業を計画しています。

1 寄付受入・募金活動

ア) 寄付等受入

賛助会員等支援者の拡大 今年度目標賛助会員:個人 100、団体 10

直接寄付 今年度見込 / 敬愛まちづくり財団:100 万円・・・ 目標 / 310 万円

イ) イベント募金

こうべ i - ウォーク(協働) 神戸復興塾、神戸まちづくり研究所、まち・コミュニケーション、甲南女子大学 担当理事:野崎

小規模でかつ気楽な形式で連続的なイベント企画・実施

協働イベント募金(「ぼたんの会」の後継)の企画・検討

ウ) 職域募金

あじさい基金(協働) 神戸市職員有志(一口 ¥200 / 月 40 名)

I) 協働企画寄付システム

古着リサイクル寄付(協働) オレンジスリフティ 担当理事:瀬戸口
書籍購入寄付/「まけないぞう」寄付(協働) 被災地 NGO 協働センター 担当理事:村井
ろうきん NPO 寄付システム(協働) 近畿労働金庫
新しい協働企画寄付システムの開発
クリック募金・ネット募金の検討

2 助成事業

ア) 本体助成事業 担当理事:瀬戸口

助成方針 次代の市民活動の担い手育成を重視する。

助成金額 300万円(+5万円)

- ・一般枠のみ:1事業について事業費総額の4分の3以内かつ上限は50万円。
少額枠は設けず、書類選考で配慮し審査会で判断してもらう。
- ・草地奨励賞:応募団体の中から永年の活動実績に対して顕彰。
1団体を理事会で選考。賞金5万円。
- ・助成事業対象期間:1年間

審査員

- ・原則として、昨年と同じメンバーへ依頼する。但し、北川氏 二木氏、島田氏 中島氏に交替。

スケジュール

- 5~6月:審査員・審査員長の就任承諾、応募要項の作成
- 7~8月:広報告知・応募申請、個別相談会(~受付締切1週間前)
- 9月:受付検査・書類審査・ヒアリング調査
- 10月:公開審査会、覚書締結・助成金交付、前年度助成成果報告書回収
- 11月:前年度助成事業成果発表会

イ) はぁ~とふるふぁんど支援事業の受託 担当理事:瀬戸口

- ・委託元:はぁ~とふるふぁんど委員会(兵庫県遊戯業協同組合、神戸新聞社グループ)
- ・支援総額:未定
- ・受託事業収入金額:70万円
- ・スケジュール
 - 4月:今年度支援団体の決定
 - 5月:今年度贈呈式、前年度最終報告書回収
 - 12月:次年度分応募要項の作成、新年度受託契約締結
 - 1~2月:広報告知・応募申請・受付相談
 - 3月:受付検査、1次審査

3 啓発・講座事業

ア) 講演会 ・開催時期:10月頃 ・講演者未定

イ) NPO マネジメント支援コンサルタント養成講座(実践編・西日本地区向け)

- ・(特活)パブリックリソースセンター(CPRD) 岸本幸子理事・事務局長 後援:パナソニック(株)
- ・受講者:5~8人ほど

- ・コンサルタント受入団体:未定
- ・収入:3万円×受講人数(最低催行人数:5人)、支出:受入団体謝礼:3万円+
- ・スケジュール:
 - 5月 詳細決定、受入団体の決定
 - 6~7月 受講者公募、広報
 - (8月 基礎編(~10月 CPRD))
 - 10~12月 実践編(集合学習3回、団体訪問2回)
- ・ボランティア・スタッフ

4 運営・管理

ア) 中期計画(案)づくり

- ・検証ビジョン検討委員会報告書を受けて中期計画(案)を作成する。
- ・助成の方向性と事務局人員強化の検討を皮切りに、順次報告書の課題項目の具体案を練る。
- ・外部意見の受入れ等は、講演会との連携を検討する。

イ) 定款改訂・規程策定/文書整理

- ・定款:改定項目の抽出と改訂文案の検討(会員、審査、事務局、顧問、評議員、寄付…)
- ・規程:策定項目の抽出と規程文案の検討(就業、給与、寄付受入、助成、会員、経理…)
- ・寄付者・助成団体・関係者名簿の整理

ウ) 情報発信

- ・ニュースレター発行(年4回)
- ・ホームページ・ブログの更新(随時)
- ・パンフレットの見直し

エ) スタッフ研修

- ・外部研修への参加(随時)

オ) ネットワーク活動

- ・関西財団の集い(:助成財団との連携)
- ・先端医療と市民の協働委員会(:寄付受入の新規ルート開拓)
- ・アドバイザー派遣事業(@市民活動センター神戸、神戸まちづくり研究所:マネジメント支援)
- ・関西NPO支援センターネットワーク(KNN@大阪ボランティア協会:中間支援NPO地域連携)
各種講演・イベント共催等の活動(随時)

カ) 会議

- ・総会(5月)
- ・理事会(5月、9月、10月、2月)
- ・四役運営会議(4月、6月、7月、11月、1月、3月)

キ) その他

- ・認定NPO法人格取得に向けての準備
当基金の目的に関連する活動(随時)

平成 22 年度 しみん基金・KOBÉ 活動スケジュール

月	助成事業	寄付・募金 / 講演会	その他の活動	会議等
4 月	HF 最終審査・結果通知 助成団体中間ヒアリング (～9 月・随時)			運営会議
5 月	HF 報告書回収 審査員就任承諾		NL 発行 講座: 受入団体決定	会計監査 理事会 定時総会
6 月	HF 贈呈式 応募要項作成		県報告 講座: 広報・受講者公募	運営会議
7 月	応募申請受付(～8 月) 受付相談			運営会議
8 月			NL 発行 講座: 基礎編(～10 月)	
9 月	受付検査 書類選考(1次審査) ヒアリング調査			理事会
10 月	前年度分報告書回収 公開審査会	講演会	講座: 実践編(～12 月) 集合学習: 3 回 団体訪問: 2 回	理事会
11 月	覚書締結・助成金交付 草地奨励賞授与式 助成事業成果報告会		NL 発行	運営会議
12 月	HF 委託契約			
1 月	HF 応募申請受付(～2 月) HF 受付相談(～2 月)	こうべウォーク		運営会議
2 月			NL 発行	理事会
3 月	HF 受付検査 HF1次審査			運営会議

HF = はぁ～とふるふぁんど「ボランティアあしすと」支援事業の略。

助成事業欄で先頭に「HF」がついていないものは、本体助成事業によるものを意味する。

NL = ニュースレターの略、講座 = NPO マネジメント支援コンサルタント養成講座の略。